

会議録

会議の名称	平成27年度第1回加東市まちづくり推進市民会議
開催日時	平成27年8月26日（水）午後3時～午後5時40分
開催場所	加東市役所 2階 201会議室
議長の氏名（座長 梅野巨利） 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ ・遠藤 智久 ・佐々木正利 ・下山 絹子 ・田中和美 ・梅野 巨利 ・遠藤 久男 ・黒崎みどり ・石田れい子 ・豊福 乃子 ・内藤 直子 ・原 勝彦 ・平川 米一 ・廣畑 恒子 ・藤本 善仁 ・前田 友子 ・増田 正一 ＜欠席委員＞ ・宮崎 良平	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・協働部長 芹生 修一 ・協働部企画協働課長 長谷川 茂 ・協働部企画協働課副課長 前中公和 ・協働部企画協働課主幹 平野 好美 ・協働部企画協働課主幹 小林 寿泰	
説明者として出席した市の職員 ・市民生活部長 松本和久 ・地域創造部長 中村隆文 ・まち・農整備部長 阿江孝仁 ・教育部長 堀内千穂 ・協働部秘書広報課長 西山修三 ・協働部防災課長 肥田繁樹 ・市民生活部生活課長 眞海秀成 ・教育委員会事務局教育総務課長 大橋博英 ・教育委員会事務局学校教育課長 登 光弘 ・教育委員会事務局生涯学習課長 黒崎徳弘 ・教育委員会事務局中央図書館長 大橋正明 ・北はりま消防組合加東消防署副署長 小林浩太郎 外7人	
1 議 題 (1) まちづくり推進市民会議について (2) 加東市総合計画後期基本計画の進行管理について ほか 2 会議資料 平成26年度総合計画主要施策進行管理シート（政策Ⅰ及びⅡ） ほか 3 会議の経過 ⇒別紙「平成27年度第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり	
平成27年12月24日 座 長 梅 野 巨 利 副座長 佐々木正利	

(別紙) 平成27年度第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
	1 開会 事務局 2 挨拶 市長 3 座長及び副座長の選出 (資料No. 1) 座長に梅野巨利氏、副座長に佐々木正利氏を選任 4 協議 (1) まちづくり推進市民会議について 事務局から説明 ア まちづくり推進市民会議について (資料No. 2) イ まちづくり推進市民会議の運営に関する申し合わせについて (資料No. 3) (2) 加東市総合計画後期基本計画の進行管理について ア 平成27年度まちづくり推進市民会議における協議について (資料No. 4) 事務局から説明 イ 加東市総合計画後期基本計画の進行管理について (平成26年度総合計画主要施策進行管理シート (政策Ⅰ及び政策Ⅱ)) ○主要施策コード10101~10401までについて、担当部署から説明 【質疑応答等】
委員	◆主要施策コード10101：市民文化の創造の促進 ・シートⅠの指標4について、目標値の見直しを行うこととしたとのことであるが、目標値が半分以下になっているのに、シートⅡ-③を見ると、来年度予算額が増えている。費用対効果が半分で、何かすごく納得いかないが、この辺はどうなっているのか。
課長	・来年度予算については、耐震の実施設計等を行う費用が入っており、増額となっている。それから、収入に関しては、歴史民俗資料館の展示物にほとんど変化がないということで、監査委員から無料にしようかという意見をいただいております。そういった面も考慮しながら今後検討していきたいと思う。来場者数の減については、人の流れの変化が原因であると考えられ、そのため、今回その目標値を下けたところである。
委員	・その説明はわかるが、人の流れが変わったことに対してどのような対策を行うのかという考えはないのか。努力というのか、こういうことをやったら、また人の流れが帰ってくるかなとか、そういうことはないのか。
課長	・ギャラリー伝で別の展示を行ったこともあるが、歴史民俗資料館にもっと展示できるスペースがあれば、ほかの展示物を展示したりして入場者数を増やすこともできたと考えられる。また、小学校の社会科見学において、昨年度は、小規模校の順番となっており、これによる自然減少というのも来場者数減の一つの要因となっている。今後何とか努力して増やしていきたいと考えている。
委員	・努力してほしいが、市内の人だけを見るのではなくて、もっと広域な人の動きも見してほしいと思う。
課長	・シートⅢの評価、現状・課題認識の上の3行と改善策について、昨年度の内容と全く同じである。どういうことか。
座長	・内容が変わった部分のみ一部手を加えただけで、変わっていないところについてはそのまま記載した。
	・この件については、B評価となっているが、それを差し止めといて、再度評価をしていただくということでよい。
	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・では、この10101のシートについては、再度評価をして、改めてそれを提出いただくということで、市民会議の意見としたいと思う。
委員	◆主要施策コード10201：国際化施策の推進 ・指標3で生活ガイドブックを作成しているということが載っているが、内容的にはどういうものなのか。というのが、社工業団地へ中国人の方が自転車で通勤する際に非常に危険な部分があるということを聞いており、このハンドブックには、交通法規などが載っているのか。

主幹	・生活に関連することということで、各種届出やごみの出し方という基本的なことを載せているが、交通法規については載せていない。社工業団地では4社の会議があり、定期的に交通安全対策について会議を持たれており、そこで従業員の方への教育もあわせてお願いしたいということで、警察と市の防災課の担当者が出向き、意見交換をしている。生活ガイドブックについては、最低限生活をしていただくのに不自由がないようにということで作成している。
委員	・近隣の方が非常に心配されているので、改善する機会があれば、このことを付け加えていただきたい。
委員	・中学校間の交流ということで、平成27年度から見直しして、オリンピック市との交換留学を経験した生徒をキーパーソンに交流を図るということであるが、それであれば今回派遣する子どもたちにもそれを認識させないといけないが、どういった内容で考えているのか。
課長	・交換留学の時期が近づいているので、子供たちの意識づけのために動いていきたいと思っている。子供たち同士をうまく窓口にして、学校間同士でのつながりを少しずつ広げていけば、市内の中学生と向こうの中学生の交流が広がるのかなというようなところで、きっかけづくりとして訪問した中学生へ向こうの中学生としっかり今後交流するといった組織づくりをしてほしいというお願いをしなければいけないと思っている。
委員 課長	・具体的には、行った子どもたちのネットワークを作るみたいな感じでいいのか。 ・いきなり学校同士というよりは、やはり子供たちのことであるから、友好関係、友達づくりを通してそれを広げていくということが実際に即していると思いいその計画にしている。
座長	・この交流がゼロというのは問題であると思うが、3校という目標値は高いかなとも思う。学校交流はそんなに簡単にできない。かなり個人間、教員同士の個人的な関係からでないとなかなかスタートしにくいと思う。余り目標値を高く設定する必要はないと思う。年に1回でいいので、1人でもいいので、こっちから出す、そして、向こうで受け入れるという取組は是非されたほうがいいと思う。その人がここで言うキーパーソンというか核になれば、次に行ってみようという人が出てくると思うので、是非この取組は欠かさずというか、国際性豊かなというように書いてあるので重視してほしいというのが希望である。
委員	・平成26年度目標が1校で実績がゼロになっている。ゼロになる前の努力というか、どういうことがだめでゼロになったのか、それを聞きたい。
部長	・過去に旧社町で国際交流の担当をしていたことがあるが、そのときに徐々に学校教育の中に英語というものが入り、また、子供たちの国際交流というものが進んできた中で、旧社町の場合は5つの小学校があり、オリンピック市の5つの小学校と、非常に短い期間ではあったが、友好校の関係を結んでいた。ただ、その当時積極的にかかわっていただいた先生が別の場所に行かれたり、退職をされると、なかなかこういった事業が続かないということがあった。昭和56年から学生間の交流は毎年隔年おきに実施をしていたので、行く年、来る年は毎年実際に交流はあったが、同じようにキーパーソンを育てたいという思いがあり、留学生、その当時はまだ高校生を派遣していたが、帰ってきたときには非常に感動して、国際交流についてこれからも貢献していきたいというような思いは非常に強く語ってくれるが、やはり年をとって大学に行き、社会人になり、社町を出ていくと、そういった思いがいつまでも育たないということがあった。合併を機にもう一度この形で振り返ってもらいたいということで、そういう提案をさせていただいた。また、今、市の国際交流を国際交流協会、市、学校などで進めているが、教育委員会でも英語ライセンスというものを定め、そこで優秀な成績をとられれば、国際交流協会のほうにもお願いをしている学生派遣、そういった事業にもかかわっていく、そういったつながりの中で非常に時間がかかっているが、こういったキーパーソンを新たに、そういう制度の中で、認められた子供たちが中心となってもう一度やっていきたいということで考えている。
委員 部長	・では、この1校というのはただ目標を設定しただけだったということか。 ・1年に1校はそういった環境を持ちたいということであったが、主体がどこにな

委員 課長	るかというようなところがはっきりしないということがあり、実現できていないので、取組手法を再検討し、新たな取組でやっていきたい。
座長	・実際にしっかり取り組んでいける学校はあるのか。 ・過去には取り組んだ経緯はあるが、今年度教育課程にきっちり位置づけてというところまではいっていない。来年度実施できるように各学校のほうに協力を依頼する予定である。 ・先ほどの話で、なるほどなと思ったのは、やっぱり複数に分散するとうまくいかないのかなということである。。何か最初のきっかけはどうしても個人のどこか負担にはなと思う。大事なのは教員であり、学生ではないと思う。学生はどんどん卒業していく、やはり組織として基本学校の中の担当教員を決めるべきであり、その責任者になる人がいないとうまくいかないものである。ただ、その人が転勤するかもしれないので、その次の後継者を育てるということが継続のためには必要であると思う。 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
委員	◆主要施策コード10301：心の教育の推進
座長	・指標に係る実績値が落ちているが、その要因がどうしようもないものであり、そういう意味ではちゃんとできているということであったので、2次評価Aでいいのではないかと思う。 ・指標2の説明の中で、クラス数が減ったが、実質中身は上がっているということであったので、Aということではよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・上方修正で、2次評価Aとする。
委員	◆主要施策コード10302：学校教育の充実
課長	・指標の話であるが、この部分では、いじめとか、あるいは不登校を指標にしたほうが見えやすいんじゃないかと思う。不登校というのは今非常に問題になっているので、そういうものを明確にしているほうがいいのではないかという気がする。 ・当然そういった心の教育の面とか非行防止の面は指標にしており、この後説明する10601の青少年の健全育成の中にその指標を置いているので、そこで御検討いただきたい。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
委員	◆主要施策コード10401：生涯学習を支える基盤整備
	・指標4の関係で、図書館を利用した市民の数が確実に減ってきている中で、それでも全国的に見たら満足度が高いということであるが、実は去年、中央図書館を見ていると、児童書のところにおられる親子の数が本当に減ってきている。これはなぜかという、こどものいえ（児童館）のほうにかなりたくさん親子が移っており、そこの図書室で読み聞かせをしている。本に親しめる親子の数というのは実はすごく増えていて、移動していつているという感じである。10年ほど前、もっと前かもしれないが、こどものいえのほうに子供が来ない、こどものいえなんてと言われることもあったぐらい閑散としていた時期があって、そのころは図書館で読み聞かせをするとたくさん来てくれていた。実質的に別に図書館でなくても親子で本を楽しんでいる人たちというのが確実にいるため、図書館だけの数字をとって来ると、明らかに減ってくる。今後確実に減っていく中でどこか特徴を出して、大人の図書館みたいな感じにしてみるとか、歴史の本とかの読書会をしてみるとか、何か定年退職された方たちがすごく興味を引きやすいようなそういう図書館を検討してはどうか。もちろんベースとして地域の子供から大人まで市民が利用できる図書館の基盤がある上に、少しレイアウトとかそういった取組とかで特徴を出していくと

課長	か、何か仕掛けていくことも、文化的なレベルを上げていく施策としていいのではないか。利用人数が減っていきっている中で、今後何か取組を考えているのか。子供たちのところに集中しているが、ほかの年代に関してはどうなのか。 ・中央図書館で月に2回、そのほかの図書館でも月に1回お話し会等を開催している。ただ、参加者は数人で、親が参加しても10人いかないうような状況になっている。そういった中で、利用の少ない中学生以上、20歳ぐらいまでを対象にしたお話し会とか、いろんなものを滝野図書館でもやっている。また、健康課と一緒に4カ月児健診で、初めて出会う絵本ということでの取組も続けてやっているような状況である。図書館としては、利用者に興味を引いてもらえる、あるいは利用していただける蔵書というのは当然充実していかないとはいけないということもあり、利用状況を見ながらそれに即した本を購入していきたいと考えている。
委員	・いろんな取組をされているのはわかるが、今後目標からどんどん離れていくような気がする。今の実情を踏まえるとともに、人口の比率とか図書館の利用というのにも伸び続けるものではないと思うので、その辺も考慮されてはどうか。
課長	・ほかの数値等も考えたが、当初の目標値のままで、引き続き取り組んでいくということで変更をしていない。ただ、御指摘にもあるような現状を踏まえ、今後目標値を含め、取組等を検討していく必要があると考えている。
委員	・加東市でも社、滝野、東条と3つの図書館があり、特色というのがあると思うが、今後來館者が減ってきているという中でそれぞれの図書館で違うアプローチというか、来館者が増えるというような何か方法を考えているのか。
課長	・まだ大きく特色を出したと言えるような形ではしていないが、図書情報センターでは国際交流という意味で外国の本を多くそろえているという面もある。加東市の場合他市の図書館と比べて、合併したということもあり、蔵書数がかなり多く、どこの図書館でもいろんな本を借りていただけるというような状況である。それぞれの図書館における仕分けをどの程度にするのかというのは今後検討していきたいと考えている。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。 ○主要施策コード10501～20202までについて、担当部署から説明 【質疑応答等】
座長	◆主要施策コード10501：生涯スポーツ・レクリエーションの推進 ・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もAとする。
委員	◆主要施策コード10601：青少年の健全育成 ・いじめ、不登校の問題であるが、これを問題行動ということでひとくくりにしたら、その内訳がわからない。今小中一貫教育推進の中で中1ギャップによる不登校を少なくしたいという話があるが、そういう中で前もって不登校の数値が明確になっておれば、その現状がわかると思う。これを指標の中に入れて、それに対する取組をきっちりやっていくというのが必要ではないかと思う。
課長	・御指摘のとおりそういったことも必要だと思うので、前向きに検討する。
座長	・指標を今から増やすことはできるのか。
事務局	・総合計画後期基本計画の計画期間が平成29年度までであり、短い期間となるが、指標設定ということは可能である。
座長	・できる限り公表できるような詳細版データをお願いしたい。
委員	・現在の各学校における監視カメラ（防犯カメラ）の設置率どれぐらいなのか。
課長	・学校内には、防犯カメラというか、校内の監視を主としたカメラを設置している。
委員	・学校周辺における防犯を目的としたカメラは、どれぐらいの設置率になっているのか。

主幹	・現在社中学校、滝野中学校、東条中学校並びに滝野南小学校の周辺に設置している。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
委員 課長	◆主要施策コード20101：水と緑の保全と創造 ・指標1の結果に対して何か改善策はないのか。 ・公園緑地の清掃活動については、現在把握していない。地域（自治会）のほうで、近隣にある公共施設を管理していただいている部分もあるので、そのあたりをもう少し明確にすればいいのかなと思う。また、公園管理を所管する土木課との調整もしていきたいと思う。
委員 座長	・2次評価はBではないかと思うがどうか。 ・まだ改善の余地があるかなということで、2次評価はBに下方修正したいと思うがどうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価はBとする。
座長	◆主要施策コード20201：環境衛生の推進 ・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もAとする。
委員	◆主要施策コード20202：地球環境の保全に向けた取り組みの推進 ・進行管理シートⅡ-①、2020201の太陽光発電システム設置補助は事業終了になっているが、平成27年度に予算がついている。平成27年度も補助をしていくということなのか、しないということなのか、どちらなのか。
副課長 委員	・平成27年度をもって太陽光発電システム設置補助の終了を予定している。 ・ということは、平成26年度で終了ではなく、次回の評価の際に事業終了ということになるのではないかと。
副課長 委員	・今回は事業終了ではなく、継続となる。修正する。 ・平成28年度から補助を打ち切れば、目標の達成が厳しくなるのではないかとと思うが、何か対策を考えているのか。
課長	・太陽光発電設備の設置に対して、再生可能エネルギーの活用を進めていくということで、補助を進めていったというところである。システム整備費が高かったということで、補助金を交付することによってインセンティブ、そういう行動を働かせようという取組であったが、現在、当初の平成23年度の整備段階と比べると相当整備費が下がっている。そんな中で市民の方々の環境意識も高まってきているので、補助をしなくても目標は達成していける、また、達成できるように啓発をしていかなければいけないと思っている。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
	○主要施策コード20203～20502までについて、担当部署から説明 【質疑応答等】
委員	◆主要施策コード20203：廃棄物の減量・リサイクルの推進 ・前年度からずっと事業系ごみの数値が良くならないが、何か対策をしているのか。
主査	・啓発をホームページ、広報等を行うとともに、事業系ごみを収集運搬する業者への指導、その業者を通じたごみ排出事業者への指導を行っている。また、ごみ処理場において、ごみの点検、展開検査等をしている。
課長	・もう一つ重要なことがあって、事業系ごみには市民の方々がレストラン等で食べ

委員	残しをされた食物残渣も含まれている。また、この市役所、会社などにおける事務から発生するペーパー等も含まれている。市民の方々の意識もやはり変えていただかないと減らないということで、ごみ減量リサイクル懇談会を各地区において実施し、その際にも事業系ごみの説明をしている。徐々に意識が高まっていくことを願うとともに、高まるように今後取り組んでいきたいと考えている。 ・事業系ごみの中に私たちが外食したときの残り物が含まれているということをごみステーションパトロールで初めて聞いたが、おそらくここにおられる方もそのことを知らないと思う。広報でも何でもいいので、市民に知らしめることをしたらどうか。
主査 座長	・啓発の方法を検討してやっていきたいと思う。 ・より一層の啓発、広報などの取組をされているので、ここは2次評価Bということでどうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・ここは、もう少し頑張って啓発活動をするということで、2次評価Bとする。
座長	◆主要施策コード20301：交通安全対策の推進 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
委員	◆主要施策コード20302：消防・救急体制の充実 ・指標3の救急出動件数が今回少し減っているが、適正な出動でない件数が結構あるということをほかから聞く。この件数を分析されていると思うが、どれぐらい適正でない出動があるのか。適正な出動をするための啓発をさらにやるということが記載されているが、実際にどのような啓発をされているのか。
副署長	・119番の通報を受けて、1,712件という形で昨年救急出動をしている中で軽症という分類が約6割となる。その中には、高齢の御夫婦、独居老人の方などが病院へ行く足がないからということで呼ばれることがある。その場合には、一応タクシーの手配などもお願いするが、夜とかであれば行けないということもある。救急車の出動対象ではないというような断り方は非常にしにくいということもあり、適正でない部分の数を把握することが非常に難しい状態である。我々消防としては、入院をするしないで軽症かどうかを分類している関係上、適正な部分という数については、わからない状況である。 ・啓発については、救急の概要等をホームページ、広報、地区回覧、ポスター掲示などで行っている。また、消防署だけでなく、総務省消防庁のほうからもいろいろと啓発をされている。ただ、特に夜間等については、受け入れてもらえる病院も少なく、遠いところに行かないといけないということで、救急車を呼ぶという選択をされる方が多いということも感じている。
委員	・指標1において、平成27年度以降の3年の中で消防団員を増員するという形になっているが、これは可能なのか。現在団員数も定員割れの地域が多いようにも聞くが、そのあたりはどうなのか。
課長	・団員数の増加については、確かに厳しい状態であると思う。この件については、現在消防団あり方検討委員会で協議検討をいただいているが、その中で人数確保のための方策についていろいろな御意見をいただいているが、なかなか数字に結びつけるということは難しいと思う。地域によって格差もあり、体制の組み方を変えていくとか、そんなことも検討していきたいと思う。また、人数は確かに多くなってほしいというのがあるので、今現在はないが、女性の消防団とか、いろんな方法が考えられるので、何とか検討していきたいと思う。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。 ◆主要施策コード20401：防災・減災力の強化

座長	・ 1次評価はBであるが、それでよいのか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・ 2次評価もBとする。
委員	◆主要施策コード20501：防犯対策の充実
課長	・ 進行管理シートⅡ－①の防犯施設整備事業の中で防犯カメラを40台設置している と書いてあるが、この中に学校関係の防犯カメラは入っているのか。 ・ 学校関係の分を含めている。平成25年度に4台設置しているので、現在44台 ある。平成27年度においては、今のところ9台の設置を予定している。 ・ 防犯カメラの地域別設置数はわかるのか。 ・ 後日調べて報告する。 ・ 市内全域で40台ということなのか。 ・ そのとおりである。 ・ 防犯カメラについては、今後増設してもらえるのか。 ・ 防犯カメラについては、昨今の状況から、需要が高いのが事実である。防犯カメ ラは、後の犯人逮捕につながるということと、設置することで抑止効果があるとい うことで設置を進めているところであるが、集中して設置し過ぎると、逆に防犯カ メラに監視されているような形になってしまうので、警察と協議の上、過去に不審 者が出たとか、そういった事例があるところ、人の出入りの多い駅などを中心に設 置している。学校の登下校時に死角になるようなところ、もしそのようなところが あって、実際に現地を調べた上で必要であろうと判断できるところについては、今 後、市において設置する考えはある。
委員	・ タクシー会社、バス会社、運送会社等においては、自動車にドライブレコーダー を取り付けている場合が多いが、加東市の公用車には、ドライブレコーダーを取り 付けているのか、また、あれば何台ほどあるのか。
座長	・ 少し詳しい話であるので、質問用紙を提出の上、後日市から回答をいただくとい うことにさせていただきたい。
委員	・ シートⅢのところでは防犯対策の啓発について特に触れていないが、何か理由があ るのか、特に何もないから書いていないのか。
課長	・ 特に何もないから書いていないということではない。引き続き今まで行っている ことをやっていきたいということである。具体的には防犯協会などと協力しなが ら、活動を行っていくが、広報紙であるとかケーブルテレビを含めて、そういった 活動などについて啓発を行っていききたいと思う。
委員	・ 1次評価ではAとなっているが、Bだと思う。また、このシートの中にカーブミ ラーのことが出てくるが、前の20301にこの内容があったと思う。削除したほうがい いのではないか。
課長	・ 削除する。
座長	・ 1次評価はAとなっている。Bであるように思うが、どうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・ 2次評価はBとする。
座長	◆主要施策コード20502：消費者擁護と自立の促進 それでは最後、20502です。 ・ 1次評価はBであるが、それでよいのか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・ 2次評価もBとする。
	(3) 次回の市民会議の日程について 次のとおり決定 日時：平成27年10月21日（水）午後2時～ 〔会議後の調整により、開始時間を午後3時に変更〕 場所：滝野図書館 3階 会議場

	5 その他 防犯カメラの地域別設置数と公用車のドライブレコーダー設置数については、事務局で取りまとめ、次回の会議までに報告する。 6 閉会 佐々木副座長
--	--